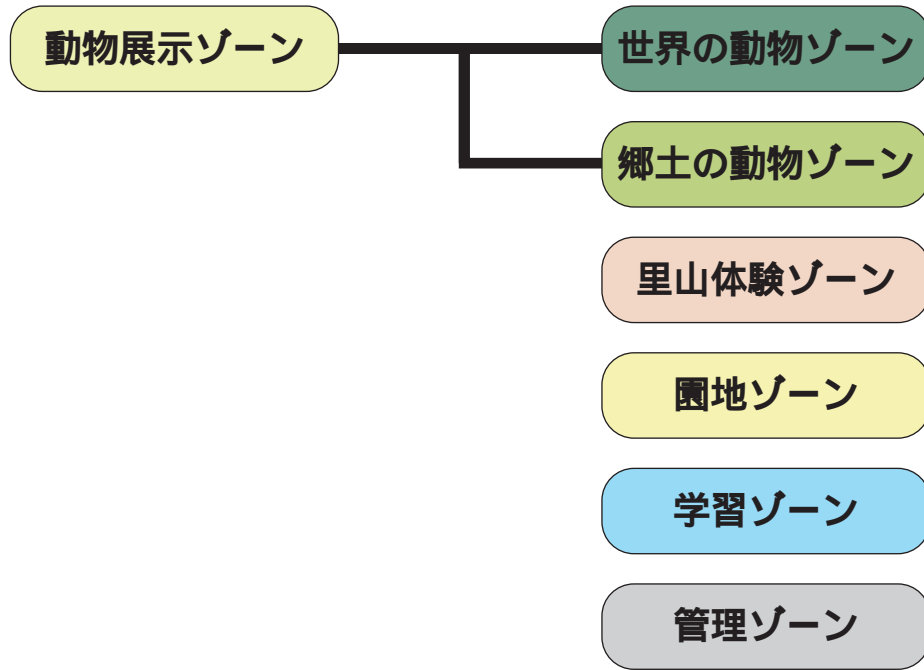


導入機能の構成



空間配置・動線の考え方

- 基本テーマである2つの展示ゾーン（郷土の動物、世界の動物）を骨格に機能配置を行う。
- 中央公園との関連や二つの展示ゾーンを結びつける拠点として「利用核」を各入口付近に設置し、この利用核を中心に園内回遊動線を設置する。また、この「利用核」は、情報発信の拠点としても位置づける。
- 各利用核を結ぶ動線にライドを用いることにより、新しい展示体験を生み出すとともに、移動の利便性を向上させる。
- 現況の森の音楽堂や児童センター周辺を学習ゾーンとして位置づける。
- 活動的な体験やアトラクションが伴う里山体験ゾーンや園地ゾーンを、動物展示ゾーンから明確に区分することにより、動物展示ゾーンでの“自然環境の体感”を損なわないように配慮するとともに、展示動物への影響を防ぐ。

